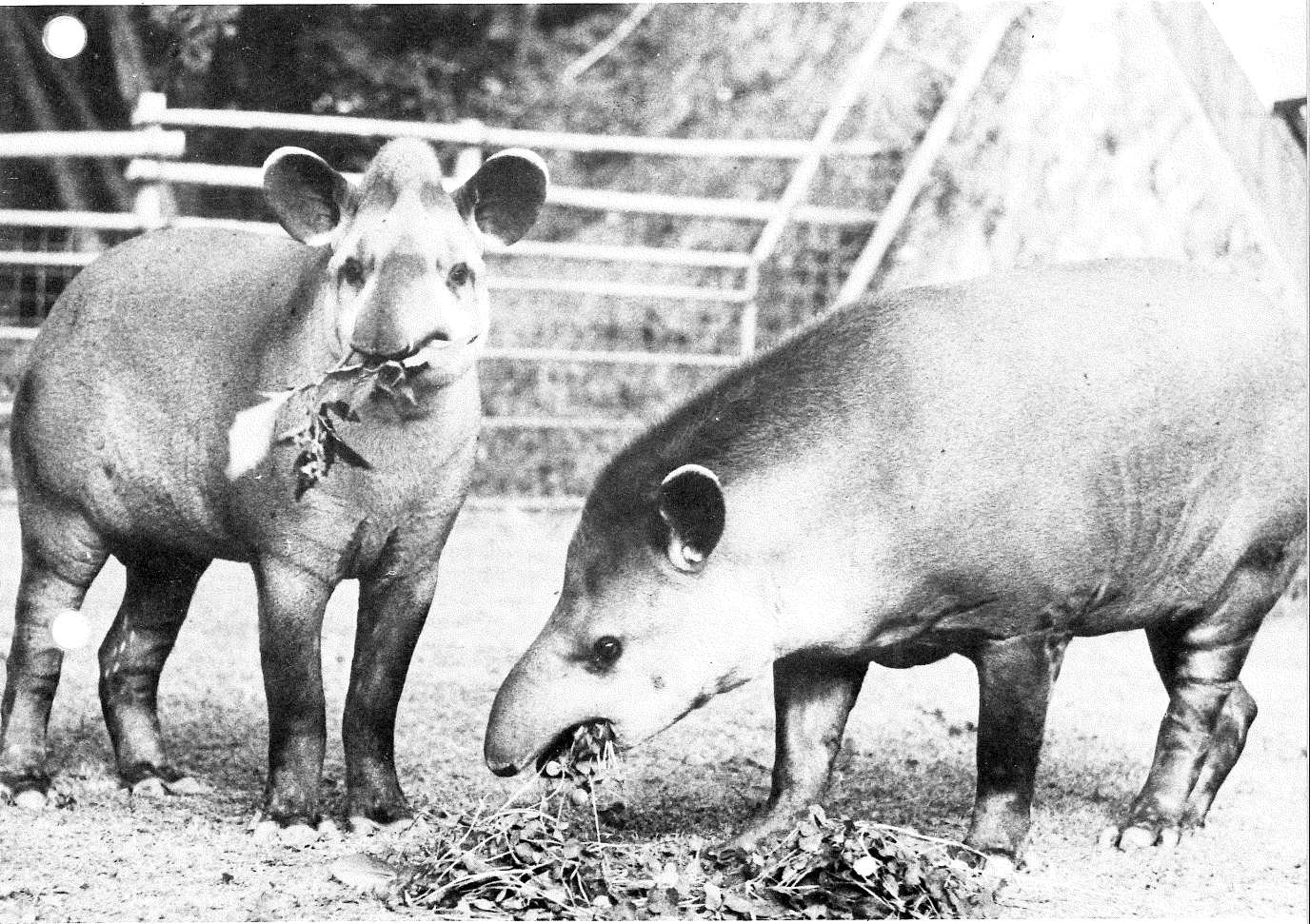


わがからこ

No. 14

1978年1月



財団法人

鹿児島市動物公園協会



馬とヤンソン先生

県立鹿児島西高校講師 越山正三

昭和53年は馬の年です。そこで、日本の馬および教育に大きな足あとを残されたドイツ人、ヤンソン先生についてのべておきます。ヤンソン先生は桜島大爆発の年、大正3年に65才で鹿児島で亡くなられ、立派な墓が草牟田墓地に建てられている。

明治6年3月15日欧米視察中の大久保利通一行は、当時ヨーロッパにときめく、鉄血総理大臣ビスマルク(当時58才)の邸の晩さん会に招かれ、ドイツの指導者とも親しく語りあう機会をもった。5月には急ぎ帰国した。

明治新政府の政治を実行するのに際して、ドイツからも指導者を招いた。その一人にヤンソン先生がいます。

明治9年、内務卿大久保利通は内務省勸業寮内に農事修学場を設け、農学と獣医学の学問の場を設けた。これが後の駒場農学校となり、東大農学部の前身となった。

1849年生まれ、若冠27才のヤンソン先生は広汎な知識をもって、畜産と獣医学の指導をなされ、田中宏・今井吉平というふたりの薩摩出身の学者と力をあわせて、日本の馬(特に軍馬)の改良のために力を注がれた。

協力者が鹿児島出身のためでありましょう、ヤンソン先生は鹿児島の女性と結婚され、後に鹿児島の七高のドイツ語教授として来られ、勲三等を贈られた。

学者として、教育者として、明治のれい明期に果されたヤンソン先生の偉業は、北海道大学のクラーク先生にまさるとも劣らぬものがありましょう。クラーク先生は、わずか半年の日本滞在であるのに反して、ヤンソン先生は、その墓を鹿児島に建てられた。ヤンソン先生の墓碑の上に、初代七高館長岩崎行親先生の墓があり、鹿児島の教育に偉大な力を与えられたお二人の先覚者の墓が、仲良く建てられていることに、お二人の永遠のご縁を思い知らされます。

ヤンソン先生の胸像は、東京大学農学部三号館の階段の上に、同僚の田中宏先生の胸像と仲良く建てられている。(鹿児島市動物公園協会理事)

表紙

アメリカバク (South American Tapir)

前肢に4本、後肢に3本のひづめがあり、長くのびてよく動く鼻をもち、性質はおく病である。水の中でないと排せつしないという面白い習性がある。子どものうちは縦じまがあり、体重は300kgにもなる。

行事

元旦より3日まで新春もちつき大会
元旦より8日まで動物と遊ぼうコーナー設置
元旦より4日まで新春福引き大会

飼育動物数(昭和52.12現在)

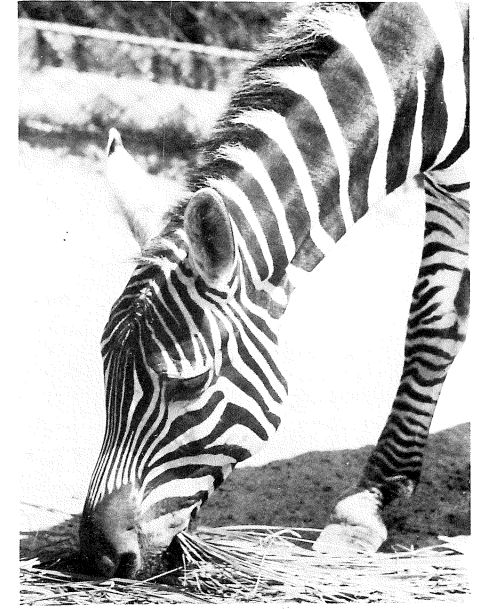
ほ乳類	80種	312点
鳥類	83種	845点
は虫類	4種	15点
計	167種	1172点

新年おめでとう

今年はおれわれの年ですぞ。



とからうま



グランドしまうま

馬の仲間には約60種類いるが、その中で日本在来の馬が北海道の道産子、長野県木曾地方の木曾馬、宮崎県都井岬の御崎馬、鹿児島のとから馬などである。これらの馬の祖先も、かつて中国大陸から渡ってきたものと思われる。しかし、現代の世界の馬の発しょう地は、北アメリカであるといわれる。

馬の毛色は昔から独特のよび方がある。青毛とは全体が黒いもの、鹿毛(かげ)は全体がかっ色でたてがみや尾、あしの下部が黒いもの、栗毛は全体が明るい栗色、月毛は白い馬、あし毛は白い毛に濃い色の毛がまじっているものなどである。額にある白いはん紋は形などから星、流星、鼻白などとよばれる。

馬は上あごと下あごに6本づつの門歯があり、この摩滅のしかたと乳歯の抜けかわり方で、ほぼ正確に年齢をおしはかることができる。

動物公園ニュース

人気No.1にキリンさん

秋の動物公園まつり(10月14日～11月27日)の期間中、小中学生を対象に当園の動物人気投票をした結果、次のような順位に決まりました。なお1位のキリンに投票した人の中から抽選で賞品を贈りました。

1	位	キリン	1030票
2	位	ゾウ	386票
3	位	ゴリラ	324票
4	位	トラ	288票
5	位	シロクマ	268票



2頭の子どもも満1才となり、この1年間で身長が1m以上ものびました。

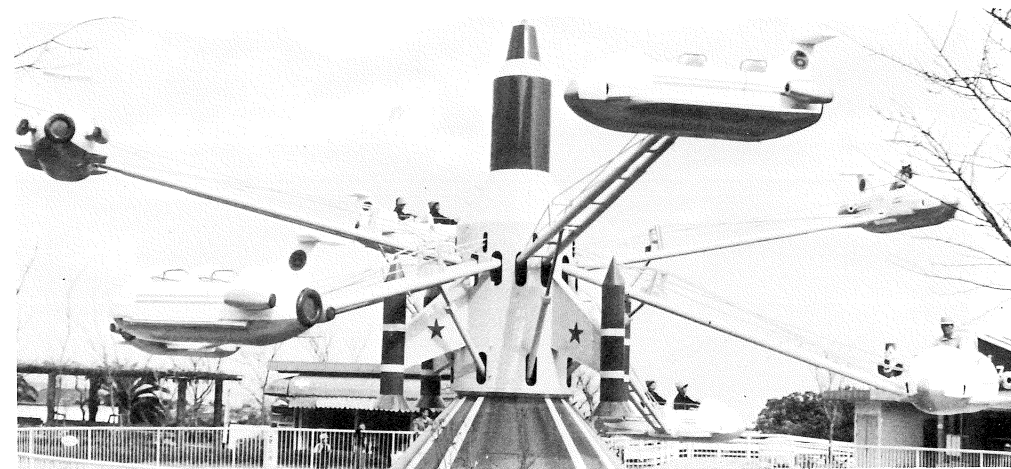


特賞の自転車をもらいニコニコの久保田さん

特賞	坂元小3年	久保田知子
1等	明和中3年	東郷雄二
	根占町宮田小3年	丸峯ゆかり
2等	大明丘小2年	今別府尚美
	吉野小2年	平山利佳
	根占町神山小4年	寺山ひとみ

待望の飛行塔完成！

元旦より運転開始



県内で初の大型遊具・飛行塔が完成しました。1機4人乗りで合計8機が交互に上昇・下降をくり返しながら回転するスリルに富んだ乗り物で、高さ6mまで上がります。



太陽電池時計

「豊かな暮らしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」の行事のひとつとして、九州郵政局より寄贈されたものです。時計本体は80cm四方の大きさに前後両面とも文字盤があり、高さ4mの塔の上に設置されています。

太陽光線をエネルギー源としているため半永久的に作動し、動物公園の名物として皆さんに正確な時刻をお知らせします。

ソデグロヅル アメリカへ飛ぶ！



日本では、平川動物公園にだけ飼育されていたソデグロヅルが国際結婚のため10月17日アメリカウイスコンシン州バラボーの国際ツル財団へ送られました。

このソデグロヅルは昭和44年11月沖縄の与那城村で保護されたものです。ソデグロヅルは、世界中で約300羽ほどしか生息していない貴重なツルです。繁殖のため3年間の予定で貸し出されるものでいずれヒナとともに平川に帰ってくるでしょう。

出発の前日にはお別れの会がありました。

ハイ！担当は私です



オス・キング(右)とメス・メリー(左)

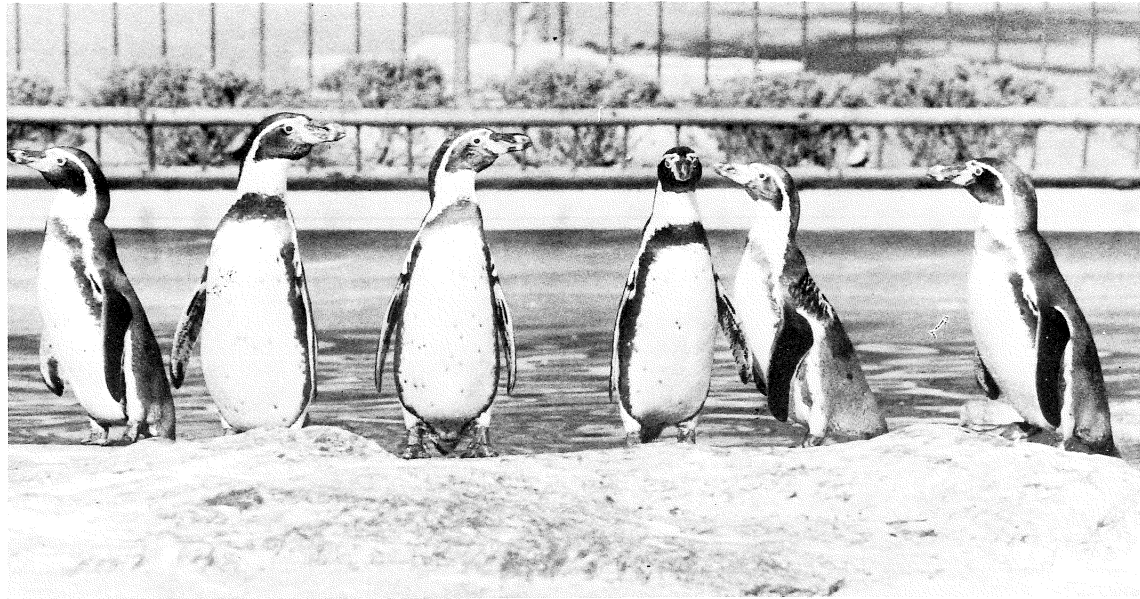
ゴリラ

5年前来園した時は、オス8.8kg、メス10.8kgだったのが、今ではそれぞれ60kgと50kgに成長し、オスはすでに私の体重を越しました。近い将来、この子たちと、このように並んで写真をとることもできなくなるでしょうし、私でもたちうちできなくなる日がくると思います。その日が早く来てほしいような、来てほしくないような、期待と不安の気持ちもちながら、時にはやさしく、時にはきびしく飼育しています。

あと10年もすると、体重200kg以上、身長180cmぐらいになると思います。

飼育係 石宮勝明技師

新着・繁殖動物



▲フンボルトペンギン

寒い国からはるばるやって来ました。これで当園のフンボルトペンギンは13羽になりました。食欲おう盛な元気坊たちです。



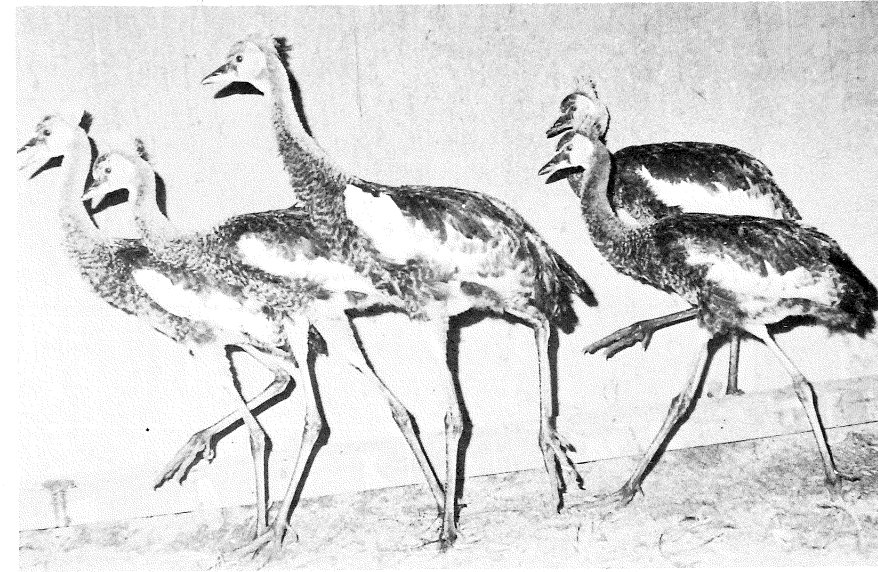
▲オマキザル

これまでオス1匹だけしかいなかったオマキザルに、1度に2匹のメスが嫁入りしました。



▲ブラッサモンキー

11月6日に生まれ、母親が長いあごひげの下に隠すように抱いていたが、生後3週間で目鼻だちのくっきりした顔を見せるようになりました。

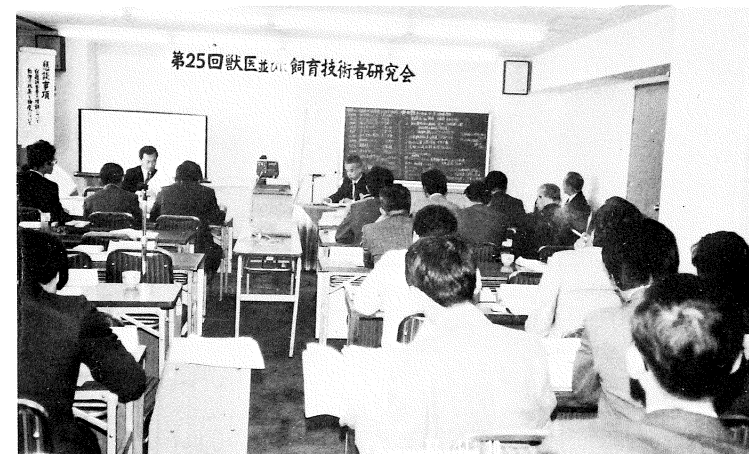
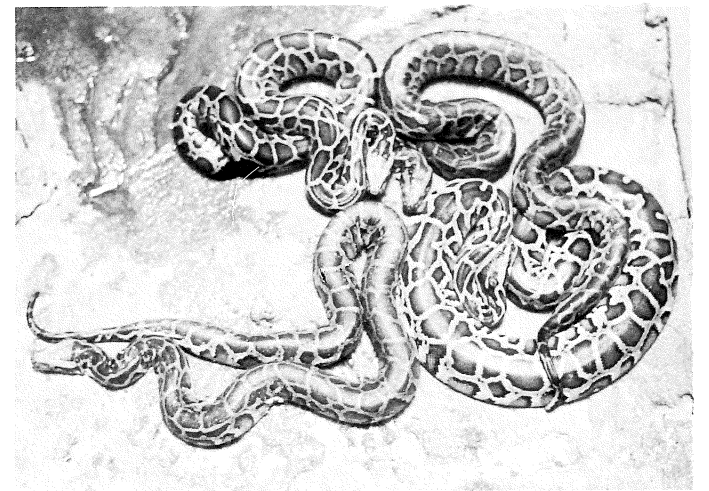


◀カンムリヅル

アフリカより5羽のカンムリヅルが来園しました。まだ生後6ヶ月位でオス・メスの区別もわかりませんが暖かくなる頃にはアフリカ園に美しい姿を見せてくれるでしょう

▶インドニシキヘビ

札幌円山動物園で50匹生まれたうちの5匹がプレゼントされました。まだ生後半年で体長は80cm位です。10年もすると体長5m、体重50kg位に成長するでしょう



全国の動物園、水族館関係者が動物の繁殖例や疾病などの研究発表を行う第25回獣医並びに飼育技術者研究会が、11月9日より3日間鹿児島で開かれました。全国より約60名の参加者があり、活発な発表・意見交換が行われました。

動物公園の顔



◀とら (Tiger)

(食肉目ねこ科)

北はソ連から、南は東南アジアまで広く分布し、各地に亜種がある。産地によって体格にもかなりの差がある。ジャングル・低木林などに少数の群ですんでおり、水浴びを好む。動物園では鯨肉・鶏肉・馬肉などを1日5kgぐらいたべる。



※ 平川動物公園では、動物のためにどんな暖房設備がしてあるのかな？

- ボイラーをたいて温風を送っている所
類人猿舎・サイ舎
- ボイラーをたいて温水を送っている所
は虫類舎
- ストープのある所
キリン舎・サル舎

- ロードヒーターの設備がある所

類人猿舎・キリン舎・サイ舎・ゾウ舎・シロクマ舎

- 赤外灯のある所

キリン舎・サル舎・マントヒヒ舎・カンガルー舎・リスザル舎

キツネザル舎・手長ザル舎

表紙題字

鹿児島市長 山之口安秀

ひらかわ No. 14 昭和53年1月1日発行 第14号
 発行所 鹿児島市動物公園協会
 〒 891-01 鹿児島市平川町5669-1 ☎ 0992 (61) 2326~8
 発行者 山之口 安秀
 編集者 坂元 種夫

撮影 梶原純一・酒匂 猛